

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：玉木 朋子

研究分野	研究内容のキーワード
終末期ケア，シミュレーション教育，高齢者のQOL，高齢者への医療サービス提供に関する調査，ケアに関するメタアナリシス	終末期ケア，終末期高齢者，看護教育，シミュレーション教育
学位	最終学歴
看護学修士	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. BLS演習	2017年～現在	武庫川女子大学看護学部演習科目「成人看護学演習Ⅱ」において2コマの演習を実施した。実技をメインに計画し、心臓マッサージ、気道確保、AEDの使用方法、院内急変時対応、バッグバルブマスク、アンビューバックの使用法、気管挿管のデモンストレーションと演習をおこなった。演習直後に実施した小テストでは全員が8割以上の得点を獲得することができ、知識と技術を統合した学びへの貢献となったと考える。
2. 三重大学現代社会と健康	2015年4月2016年3月	三重大学の全学共通の教養科目で学生190名を対象に現代社会と健康について講義をおこなった。おもに高齢社会と死に対する教育について講義した。講義終了後のアンケート調査で、学生から関心を示す反響が多数あったとの報告を受けた。
3. 三重大学基礎ゼミナール主担当	2015年4月2016年3月	4年生を対象とした卒業論文作成にむけてのゼミナール1単位の主担当。看護研究の方法、データベースを利用した文献検索、文献のクリティークの方法について講義をおこなった。実際に学生に原著論文の文献検索、クリティークを実施してもらい、発表会を実施。質的研究と量的研究それぞれの文献の読み方や査読法について理解を深めた。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 三重大学医学部看護学科 助教	2015年4月2016年3月	成人看護学講座 助教
2. 滋賀医科大学 看護学科非常勤講師	2014年5月2015年3月	成人看護学実習、基礎看護学卒業研究
3. 兵庫医療大学看護学部 非常勤講師	2014年	基礎看護学実習
4. 大阪医療センター附属看護学校 非常勤講師	2013年4月2014年3月	情報科学の授業（講義・演習）3クラスに対して7コマずつ実施。講義・演習内容（コンピューターリテラシー、文書作成ソフト、表計算ソフト、パワーポイント、プレゼンテーションスキル）について担当した。
5. 宝塚大学看護学部 非常勤講師	2012年9月2014年3月	基礎看護学実習、成人看護学実習、成人看護学演習
<b>4 その他</b>		
1. 武庫川女子大学附属高校附属高校2年生のスーパーサイエンスコース 科学演習実験Ⅱ	2016年～現在	武庫川大学附属高校の2年生に対する体験講義・演習（大学の科学的な根拠に基づく授業を体験する講義・演習）の計画、実施に携わった。寝心地を客観的に評価するためにチェックシートの作成や授業を楽しく受けれるような動機付けとなるセッティングの工夫をおこなった。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 保健師	2012年	
2. 看護師	2002年	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. 家族が介護できない虚弱高齢者の漂流—医療的ニーズが「終の住処」を脅かす(査読付)	共	2017年4月	未来共生学, 4・89-109	玉木朋子, 大達亮, 大野ゆう子, 伊藤美樹子
2. 看護基礎教育における終末期ケアシミュレーションシナリオの開発と評価: フロー体験チェックリストを用いた無作為比較化試験による検討(査読付)	共	2017年In Press	日本看護科学学会誌	玉木朋子, 犬丸杏里, 横井弓枝, 富田真由, 木戸倫子, 大野ゆう子, 辻川真弓
3. Nurses' Experiences of End-of-life Care in Long-term-care Hospitals in Japan: Balancing Improving the Quality of Life and Sustaining the Lives of Patients Dying at Hospitals	共	2017年In Press	Asian Nursing Research	Ryo Odachi, Tomoko Tamaki, Mikiko Ito, Taketoshi Okita, Yuri Kitamura, Tomotaka Sobue
4. 世界および日本の肝内胆管がんの動向とその要因(査読付)	共	2015年	JACR Monograph 21, 3-10	歌田真衣, 大野ゆう子, 玉木朋子, 祖父江友孝, 圓藤吟史
5. Long-term trends of the incidence and mortality of intrahepatic and extrahepatic bile duct cancer in Japan(査読付)	共	2014年	Journal of Epidemiology, 24(3) 193-199.	Mai Utada, Yuko Ohno, Tomoko Tamaki, Tomotaka Sobue, Ginji Endo
6. The burden of rare cancer in Japan: Application of the RARECARE definition(査読付)	共	2014年	Cancer Epidemiology (38) 490-495.	Tomoko Tamaki Yiqi Dong, Yuko Ohno, Tomotaka Sobue, Hiroshi Nishimoto, Akiko Shibata
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
1. Development and evaluation of a formulated end-of-life simulation scenario for undergraduate nursing students using an objective structured clinical evaluation	共	2017年3月	EAFONS 20th	
2. がん患者の痛みに対する効果的な看護支援内容の抽出	共	2016年9月	第29回日本サイコオンコロジー学会学術総会	
3. End of Life 看護シミュレーション教育の評価—シナリオの開発とフローによる評価—	共	2016年12月	第36回日本看護科学学会学術集会	
4. End of Life看護シミュレーション教育の評価 ResilienceとSelf-esteemによる検討	共	2016年12月	第36回日本看護科学学会学術集会	
5. End of Life看護シミュレーション教育の評価 振返り用紙による検討	共	2016年12月	第36回日本看護科学学会学術集会	
6. 終末期高齢者における家族介護者の人工栄養に対する態度と看取りの自己評価	共	2016年10月	第75回日本公衆衛生学会	
7. 家族介護者が高齢者の在宅介護・看取りを実現した背景—遺族のインタビューから—	共	2016年10月	第75回日本公衆衛生学会	
8. 病院で死亡した80歳以上の高齢者に実施された医療とそれに対する看護師の評価	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	
9. 療養病床における終末期高齢者への看護実践の特徴と課題について	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	
10. 卒前教育におけるシミュレーションの活用と効果に関する文献レビュー	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	
11. 医療施設で死亡した80歳以上の高齢者の入院の生起と医療サービス提供の特徴	共	2015年11月	第74回日本公衆衛生学会	
12. 急性期病棟での終末期高齢者の肺炎治療の課題 80代の病院死亡事例より	共	2015年11月	第74回日本公衆衛生学会	
13. The characteristics of medical care provided during the last hospitalization of elderly patients who died in hospital in Japan	共	2015年10月	IAGG	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
14. 日本の稀少がん罹患の実態 EUの稀少がんの定義の適用	共	2013年10月	第72回日本癌学会総会	
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 未来共生学	共	2017年4月	未来共生学, 4	座談会「超高齢社会との共生を考える」で高齢者の研究を専門とする医師、保健師、看護師の座談会の一員として参加。未来共生学4号の特集として掲載されている。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. EOLシミュレーション教育の教育効果の評価とシナリオの発展に関する研究		2017年4月	科学研究費基金・基盤C	
2. 卒前教育におけるEOL看護シミュレーションシナリオの開発と有効性の検討	単	2015年10月	研究活動スタート支援	

学会及び社会における活動等

年月日	事項